

6・1～3南大阪沖縄現地学習会

沖縄 ~~大~~迫半端ないって!!



全国金属機械労働組合 港合同
 大阪市港区南市岡3・6・26
 TEL 06・6583・4858
 FAX 06・6583・4600

晴れ空の中、AM八時、ANAの沖縄一便目に搭乗し沖縄へと向かいました。

二時間弱のフライトで定刻通りに到着しました。

現地は梅雨真ったただ中の為、朝から曇り空が広がっていました。

そんな中一日目がスタート。

移動のバス車内では、中村委員長より挨拶があり、同行していただく平和ガイドの本村さんより沖縄戦の事実と平和への意識と知識をすべて伝え

ますとの挨拶がありました。

一日目AM〆辺野古新基地建設反対運動・座り込み行動をしている

る辺野古海岸へ訪問。

そこでは驚愕の事実を教えて頂きました。政府のEGOで沖縄に米軍基地を造らせ、普天間基地の老朽化で、辺野古移転という名目で新基地を造らせるという事でした。

実際、私も海岸淵を歩きましたが、透き通ったエメラルドグリーンの海

に綺麗なサンゴ礁がありました。

この海を見るだけで関西人の私はテンションが上がるのに、政府と米国の勝手極まりない考えで、行動で、綺麗な海・自然を破壊される事は許せないと感じました。

新基地建設中の境界線までいくと出入りが出来



組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！

ないように海水浴場の砂浜にフェンスをたてていました。

そこには二四時間監視できるように防犯カメラが設置されていました。

訪問の際も、二〇名程の私たち団体に気付き、一人の作業員が拡声器を片手に走って確認をしていました。

その後憲法九条の碑がある読谷村役場へいき、竹下さんより説明と経緯を教えて頂きました。

初日の最後は金城実氏のアトリエに行きました。裏庭にコンクリートや粘土などを使った手作りの作品が並んでいました。

交流会を兼ねて那覇市

の「鯉呼吸」という地元居酒屋で日常業務や組合活動などの意見交換や情報交換をして初日が終わりました。

二日目は朝八時にホテルを出発して嘉手納基地が見える嘉手納道の駅へと向かいました(下写真)。

周辺住民は騒音被害と今もなお戦い、改善されるどころか新型の戦闘機や輸送機はエンジン音が酷い機体を導入されるとの報告がありました。

当日、基地内には戦闘機の数が目視出来る限りで一〇〜十五機ありました。

その日は土曜日という

事もあり「この台数は平日にくらべて断然少ない方ですよ」と教えて頂きました。

その後、読谷村にあるチビチリガマに向いました。

チビチリガマは沖縄戦時に国民が避難をする為の防空壕で、避難を強いられた人の大半が子ども

だったそうです。

終戦時、米軍側より助かるから出てこいなどとアナウンスされていたが、テレビもラジオもそこまで普及していない時代です。信用する事もなく、出てこなかった防空壕の日本人に対して入口付近に催涙弾などを投げて無理やり出そうとし





ましたが、避難している住民は「日本」の為に集団自決を選んだ場所とも言われています。

訪問日当日、広島で被曝したピアノが沖縄の地へ渡り読谷小学校の生徒数十人が追悼の歌を披露していました（左写真）。チビチリガマ周辺には金城実さんが子ども達と

作った慰霊の像が何体か見受けられました。戦争を忘れない、幼い命を忘れないという思いが伝わりました。

その後、普天間基地の見える嘉数高台へと移動しました。その公園には嘉数壕と呼ばれる防空壕がまだ残っていました。普天間基地は老朽化と

言われている通り、滑走路は波を打っていました。数年前に訓練中に戦闘機

が普天間基地周辺の沖縄国際大学に墜落するという悲劇があり、その時、米軍の取った行動は、日本の警察等を一切関与させずに墜落した機体などをすぐに基地内に持ち込んで、去っていくという行為でありました。

墜落現場は事故のまま補修も行わないという、考えられない行動をとった米軍の行動を初めて教わりました。

その日の夜は、最終日前日という事もあり、参加者と平和ガイドさん・バスガイドさんも含めて

交流会兼慰労会を行いました。

私たちも皆さんの前で今回参加して感じた事、学んだ事の報告をして楽しく交流会と二日目を過ごしました。

三日目もあいにくの雨。この日は学習会で一番楽しみにしていたガマの中へ入りました。

先程のチビチリガマの中には入れませんが、糸数壕と呼ばれるこちらは入ることができます。

残念ながら中は真っ暗ですし写真は撮っていませんが、懐中電灯で足元を照らしても怖く、下ばかり気にしていると頭も



打ちそうになるほど、狭く暗い所です。
今は歩きやすいよう手すりも付いていますが、昔はもっと過酷だったのではないかと思えます。
続いては平和公園です。当時無くなった方々の名前がたくさんの石に刻まれていました。「平和の礎」と言われるところ

《感想》 T

沖縄は人生で2回目でしたが、プライベートで計画しても行かないようなところばかりに行かせてもらい貴重な体験ばかりでした。

沖縄=楽しい観光地 というイメージでしたが、沖縄の歴史や実態を聞いてショックを受けることがたくさんありました。

終戦して、自分と戦争は関わることはないと思っていましたが、沖縄ではまだ戦っている方がたくさんいました。他人事ではなく自分自身もこの事実と向き合い、伝えて行かなければならないと強く感じました。

学習会に行く前は正直、あまり前向きな気持ちではありませんでしたが、今は行ってよかったなと思っています。

来年もこの学習会があればぜひ皆さん参加して下さい。

すごく良い経験をさせて頂きました。ありがとうございました。

中央には写真の噴水のようなものがありました。これは手前が日本列島になっていて、円錐の中央部分がちょうど沖縄を表しています。円錐の部分からは水が出ているのですが、平和の波を沖縄か

ら広げようという意味が込められているそうです。その後昼食を頂き、おみやげ購入タイムを挟んだ後ひめゆりの塔へ向かいました。

資料館の入口にあったこちらのガマはとても深かったです。このガマの反対側に繋がっているというつくりでした。当時、戦争を体験された方の話が聞ける所や、当時の日記を見たりしま



した。
入口から順に見て行く
と、時系列となっている

《感想》 K

今回本当に貴重な経験をさせて頂きました。

私は個人的に沖縄へほぼ毎年訪れる程大好きな地ですが、今回平和学習会という形で戦争や米軍問題の場所、そして現地の方々の真実を聞いて、沖縄に対する考えが変わりました。

国内では最高のリゾート地であり、1番綺麗な海とサンゴなどで有名ですが、やはり忘れてはいけな事や同じ国民として知っておかなければいけない事があるのだと痛感しました。

今までの個人的な沖縄訪問とは全く違う沖縄を知って、今後伝えていける事は伝えないといけないと思いました。

一緒に参加された皆さまお疲れ様でした。

そして今後経験される方は本当に貴重な経験ですので参加されるチャンスがあるのであれば是非参加して沖縄や日本の過去を知って頂きたいです。

改めて今回、大変貴重な経験をさせて頂き、ありがとうございました。

のでとても見やすかったです。時間がもっと欲しかったと感じました。
最後に米須海岸に行きました(写真上右)。
この海はたくさんの方が亡くなった場所ですが、今ではサーフィンをして

いる人もいます。地元の方々はこの地で何が有ったかを知っている為、ここではやらないというお話でした。
十七時の便で大阪へ戻る為、空港にて三時間ほど時間を潰しました。

昌一金属支部

みんな疲れてソファで寝ているメンバーもいました(写真上左)。

T K